

令和4年度第2回君津地域保健医療連携・地域医療構想調整会議 開催結果

1 日時：令和5年3月13日（月）午後7時00分から午後8時01分

2 場所：ZOOMによるWEB会議

3 出席者：委員11名 他4名（代理出席3名、アドバイザー1名）

天野委員、三枝委員、松葉委員、古谷委員、剣持委員、海保委員、賀来委員、石井(敬)委員、蒔田委員、滝口委員、渡辺委員代理鶴岡氏、石井(宏)委員、高橋委員代理坂本氏、粕谷委員代理千田氏

竹内アドバイザー

4 会議次第

- 開会

- 議事

(1) 2025年に向けた医療機関毎の具体的な対応方針について

(2) 非稼働病棟について

- 報告事項

(1) 医師の働き方改革に向けた対応について

(2) 地域医療構想調整会議活性化事業について

(3) 今後の主な協議事項について

5 議事及び報告の概要

議事 (1) 2025年に向けた医療機関毎の具体的な対応方針について

資料により事務局より説明

(委員)

石井病院の回復期病床はこの地域では不足しているのでありがたい。以前はどのような分類であったか。

(事務局 (推進室))

今回初めて回復期と示された。

(委員)

資料の3枚目、右下の表で「当該圏域の病床機能の状況」の中で、「定量的基準に基づく推計値」では病床が過剰となっている。休棟等を差し引くと184床足りないのではない

か。

(事務局(推進室))

休棟等の欄はすべて休棟しているわけではない。病床機能報告なしが4か所、また分類するための診療実績の詳細がわからなかった病床も含まれている。わかりにくいですが御理解願いたい。1年間稼働していないのは令和4年7月1日で2か所90床となる。

(委員)

基本の数字が違っていると議論が変わる。しっかりしていただきたい。

議事(2) 非稼働病棟について

事務局より説明。

(委員)

議題1について、現状を精査していただきたい。実際のところどうなっているか正確に把握して議論したい。議題2について、医師の働き方改革の部分も絡んでいる。また、看護師の問題が解決しないと再稼働は難しいと思う。その都度、生のデータが欲しい。

(事務局(推進室))

データを新しく正確に提供していきたい。各種報告等、御負担をお掛けするが、御協力をお願いしたい。

(委員)

人材不足については、病院での募集のほかには行政からの働きかけはあるか。

(事務局(推進室))

千葉県は人口比にすると看護師が不足していることが課題。修学資金貸付、退職防止のため保育施設の補助金などに取り組んでいる。医療機関の皆様と協力しながら進めたい。

(委員)

地域医療のことを考えると行政も含め医療機関等の連携を密にとって充実させたい。

(委員)

人材不足は難しい問題。行政、医療関係者等が連携を取り進めてほしい。

(委員)

保険者としては、患者の保険料の負担も考えると、適切な医療提供体制をお願いしたい。

(事務局(推進室))

正確な情報提供に努力したい。

(議長)

そのほか、意見、質問等あるか。

(委員)

大佐和分院について何も決まっていないが、施設としては築50年以上になる。第8次医療計画には乗せていきたいと考えている。来年度に青写真くらいをお示しできればと思う。方向としては地域医療構想に沿った形で建て替えたいと思っている。

(富津市)

地元としては感謝している。市民は建て替えを強く希望している。4市、企業団とともに取り組んでいきたい。

報告事項

(1) 医師の働き方改革に向けた対応について(事務局(医療整備課))

(2) 地域医療構想調整会議活性化事業について(事務局(推進室))

(3) 今後の主な協議事項について(事務局(推進室))

事務局より全ての報告事項が終了後に質疑応答。

(委員)

看護師確保について協会、ナースセンターなどでも支援しているが現状に追いついてない。コロナ禍で業務増大や感染症対策で心身が疲れバーンアウトした看護師も多数いると聞いている。また、育休1年ではなく多くとる方も増えている。保育所に入れずに復職ができない方もおり、現場の人手不足に拍車がかかっている。(チャットより)

(事務局(推進室))

看護師確保については、ナースセンター事業を看護協会で実施している。また、院内保育所、運営費の支援など引き続き看護職員不足については、医療整備課で対応していきたい。

(議長)

ひとつ、皆様に報告がある。千葉県看護協会から保健所の保健士の応援として、幹部職

員の方々が保健所を回っていただいた。感謝申し上げます。

(委員)

医師の働き方改革について、当院はB水準。C1は研修医等のプログラム等個別審査を受ける必要はないが、時間外勤務を明示するようにとのこと。いつからどのような方法で報告をするのか。

(事務局(医療整備課))

初期臨床研修に関しては毎年度、プログラムなどの報告に簡単な用紙が付いている。専門医研修は専門医機構で管理しているので県に様式がない。

(委員)

看護学校のことで皆様は御迷惑をおかけし申し訳ない。再発の防止に向け全力で取り組んでいる。学生不足が深刻な状態。この地域で看護学校がなくなると看護職員の供給が絶たれ医療が崩壊する。慢性的に学生が減っている状況が継続して限界もある。病院の皆様の支援、行政の支援をお願いしたい。

(議長)

竹内アドバイザーにコメントをお願いしたい。

(竹内アドバイザー)

本日の議論は数字の部分から始まったという点について感銘を受けた。数字の見方、考え方から整理して、この地域の問題を把握していくことができればそれに越したことはない。ぜひそちらの方向を進めていってほしい。できるだけ協力をしたい。

活性化事業について、充足と不足の地域とに分けた。この地域は充足の地域。充足の地域を詳しく見ていくと医療提供内容をどのように考えていくかという観点で、医師などの確保を進めていかななくてはならない地域と病床の数を調整していかななくてはならない地域に分かれると思う。君津圏域は提供の内容をどうすればよいかについて考えることが必要。この地域は人材の確保、施設のリニューアルが切実な課題となっていることが分かった。

来年度は次期保健医療計画の策定が行われるが、内容面では疾病対策、事業など、一つ一つ見直しが必要となる。地域の医療をしっかりと確保していくため議論ができればよいと考える。いずれにしても資金が必要。健全な経営ができるか、資金の確保等この会議の中、外でもしっかりと議論していくことが必要と考える。